報道関係各位

2026年11月9日(月)

二つの霊峰が見守る海老名の物語を一箱に

「山むすび 守(まもり)」11月9日(月)より 販売開始





うなぎパイなどの菓子製造・販売を手がける有限会社春華堂(本社：浜松市、代表取締役社長：山崎貴裕)の和菓子ブランド「五穀屋」は、富士山と大山、二つの霊峰を望む神奈川県海老名の歴史や文化をテーマにした新たな掛け紙デザイン『山むすび 守(まもり)パッケージ』を、2026年11月9日(月)より海老名エリア限定で販売開始いたします。歌川広重の浮世絵に描かれた風景や、江戸時代に多くの人々が訪れた「大山詣り(おおやままいり)」などをモチーフに、海老名の歴史や文化、山々への想いを込めたデザインに仕上げました。

■商品概要　山むすび 守(まもり)パッケージ

発売日／場所　：　2026年11月9日(月)～／海老名エリア

内容量／価格　：　二種十枚入(職人醤油 黒たまり・七福米塩　各五枚)

1,489円(税込)

二種二十枚入(職人醤油 黒たまり・七福米塩　各十枚)

2,978円(税込) ※二十枚入のみオリジナルポストカード特典付き

賞味期限　　：　120日



(味種：職人醤油 黒たまり)



(味種：七福米塩)

【味わいへのこだわり】

長い歳月をかけ木桶でじっくりと発酵させたたまり醤油「つれそい」を、お米とともに一昼夜漬け込み、仕上げに表面にもひと塗りした『山むすび 職人醤油 黒たまり』と、すべて国産の7種類の穀物を使用した『山むすび 七福米塩』の、異なる2つの味わいを一箱に詰め合わせました。

【掛け紙デザインへのこだわり】

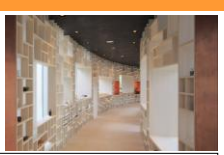
安全祈願を意味する「鱗」文様を背景に、北条氏の家紋にも用いられた歴史ある意匠としての背景を重ね、大山詣で安全祈願をした江戸火消のシンボル「纏(まとい)」をメインモチーフにしました。海老名から仰ぐ大山と富士山を一つの聖地として捉え、パッケージ全体の世界観を表現。伝統的なモチーフを現代的にアレンジし、格式とモダンさを併せ持つデザインに仕上げました。

■「山むすび」に込めた、海老名の物語

歌川広重の浮世絵「富士三十六景 さがみ川」に描かれた富士山。その手前にそびえる大山には、江戸時代から多くの人々が参詣した「大山詣り」の歴史があります。当時、江戸の人口が約100万人といわれるなか、年間20万人もの人々が訪れたとされる大山。武運長久(ぶうんちょうきゅう)を願い、大きな木太刀(きだち)を携えて奉納する「納太刀(おさめだち)」の風習など、信仰と旅の楽しみが結びついた一大レジャーとして親しまれていました。
今回、富士山と大山という二つの霊峰を望む海老名の地に着目。浮世絵に描かれた風景を手がかりに、何気ない土地の風景に隠された物語や、そこに暮らした人々の営みに思いを馳せながら、「山むすび」を通して海老名ならではの魅力をお届けします。また、二十枚入をご購入のお客様には、土地の物語や風景を水彩画で優しく表現したオリジナルポストカードをプレゼント。箱を開けたときに現れる一枚の絵が、海老名の歴史や文化に触れる小さな旅の便りとなります。商品を味わうだけでなく、その土地に息づく物語も一緒に持ち帰っていただける商品です。

■五穀屋について

世界中の食を簡単に楽しめる現代だからこそ、和菓子は日本の風土にこだわったものを作りたい。「五穀屋」は、「からだに美味しい和の知恵菓子」をコンセプトに、古来より日本人の食や健康を支えてきた五穀をベースとして、日常の食卓で親しまれている味噌や醤油などの発酵食品を味わいに加えました。さらに、私たちが大切にしてきた季節の旬や四季の移ろいを感じながら、日々の生活を彩る和菓子のあるおいしい暮らし方を提案します。



＜有限会社春華堂　広報担当＞

有限会社春華堂　広報室（月～金 9:00～18:00）
【担当】半谷 【電話】053-586-6767 【FAX】053-585-7789
【e-mail】press@shunkado.co.jp